



置農フライド

置農ふれあい通信

【学校スローガン】

「命」を育み、「心」を育み、「人」を育む。

『トピックス』

試合当日から一週間前に計画した有志応援。休日に関わらず、全校生徒職員の凡そ半数が「皆川球場」に駆けつけ、仲間たちに熱いエールを送りました。



1「甲子園予選有志応援」大盛況！

試合後、対戦校である惺山高校保護者会の方々から「自分達にまでエールを頂き、とても感謝している」「コロナ禍の中、とても素晴らしい応援を見せて頂いた」との言葉をいくつも頂戴しました。

プラカードで気持ちを伝え、ピアニカ軍団がリズムを整え、手拍子でエールを送る形態の応援は他校に決して負けないとても素晴らしいもので、その想いは周囲に十分伝わったようです。

「出場に協力してくれた米沢興譲館高校野球部員に感謝の気持ちを伝えたい」仲間に対する思いやりと母校愛に満ちた応援でした。



【目次】

- 1 甲子園予選有志応援
- 2 甲子園予選大会
- 3 クラスマッチ
- 4 インターンシップ
- 5 緊急全校ボランティア(1)
- 6 緊急全校ボランティア(2)
- 7 緊急全校ボランティア(3)
- 8 「こまつ市」への出店
- 9 置農植物園
- 10 YouTube「置農チャンネル」
- 11 編集者コラム

2 「甲子園予選」で奮う人たち。

当初から大変厳しい展開が予想された 1 回戦は、回を追うごとに得点を重ねられての大敗。選手たちはきっと苦しかったはずですが、諦めの気持ちを一時も見せず、最後まで笑顔で声を張り上げ続けました。

駆けつけてくれたスタンドの仲間たちの想いに結果で応えることができなくても、頑張る姿を見せることや大きな声で鼓舞することで少しでも気持ちを伝えたい。そう考えて行動できた選手たちは本校の誇りです。

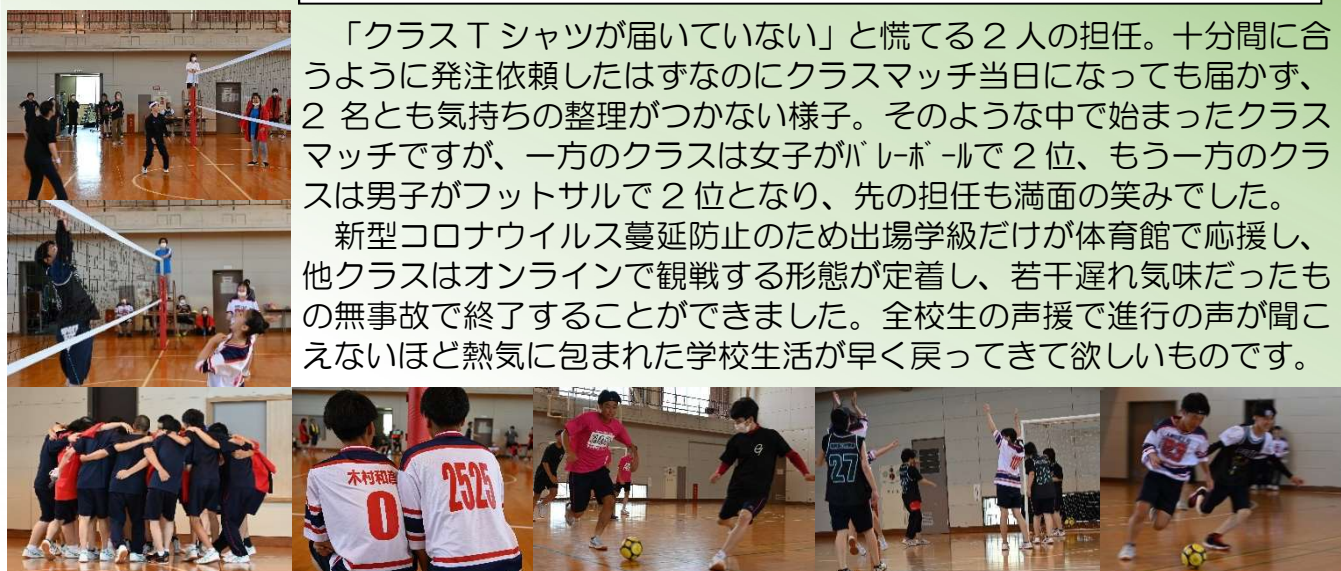
後日、米沢興譲館高校の校長先生から「仲間の大切さや絆の尊さを体感させて頂いたことは本校にとっても大きな成果です。」とのお言葉を頂きました。ご協力いただいた方々に改めて御礼申し上げます。



3 「クラスマッチ」で楽しむ人たち。

「クラス T シャツが届いていない」と慌てる 2 人の担任。十分間に合うように発注依頼したはずなのにクラスマッチ当日になっても届かず、2 名とも気持ちの整理がつかない様子。そのような中で始まったクラスマッチですが、一方のクラスは女子がバレーボールで 2 位、もう一方のクラスは男子がフットサルで 2 位となり、先の担任も満面の笑みでした。

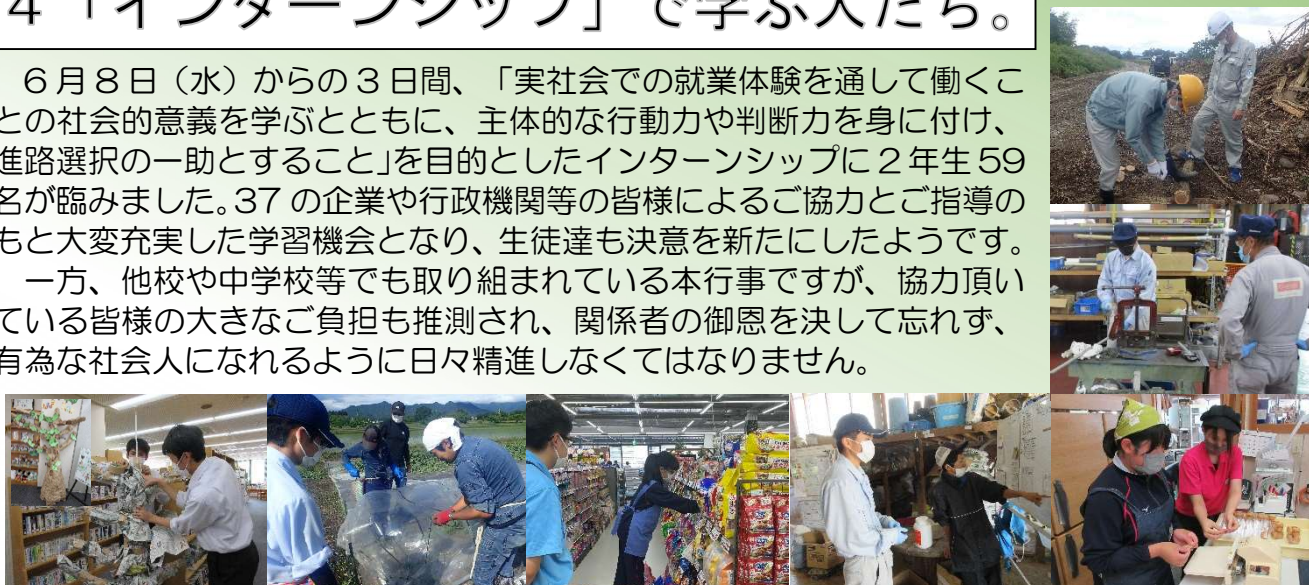
新型コロナウイルス蔓延防止のため出場学級だけが体育館で応援し、他クラスはオンラインで観戦する形態が定着し、若干遅れ気味だったものの無事故で終了することができました。全校生の声援で進行の声が聞こえないほど熱気に包まれた学校生活が早く戻ってきて欲しいものです。



4 「インターンシップ」で学ぶ人たち。

6 月 8 日（水）からの 3 日間、「実社会での就業体験を通して働くことの社会的意義を学ぶとともに、主体的な行動力や判断力を身に付け、進路選択の一助とすること」を目的としたインターンシップに 2 年生 59 名が臨みました。37 の企業や行政機関等の皆様によるご協力とご指導のもと大変充実した学習機会となり、生徒達も決意を新たにしましたようです。

一方、他校や中学校等でも取り組まれている本行事ですが、協力頂いている皆様の大きなご負担も推測され、関係者の御恩を決して忘れず、有為な社会人になれるように日々精進しなくてはなりません。



5 緊急全校ボランティア（ダリヤ園他）

「地域に甚大な被害が発生し、未だ復旧途上にある中、自分達にも何かできることがあるのではないか。」夏休み中殆どの生徒がそう感じており、一部生徒が8月3日の災害発生翌日から地域でボランティア活動に励むなど、個々にできる範囲で活動してくれました。そのような中、学校を挙げての活動に向けて各職員が情報収集に努め、お盆期間明けの実習を利用して生徒達と共にダリヤ園の復旧作業を支援。生徒達の想いを体現させようと川西町や飯豊町、社会福祉協議会の皆様からご協力頂き、始業式翌日の「緊急全校ボランティア」を実施することができました。



6 緊急全校ボランティア（川西町内）

活動場所は川西町観光の拠点とも言える「ダリヤ園」と学校から徒歩で移動できる近隣の被災家屋、川西町から要請された災害廃棄物集積場、そして、飯豊町内の被災家屋です。全校生徒を25班に分け、各班代表生徒指揮のもと、全職員が総力を上げて安全確保等の支援にあたりながら活動。いくら作業しても終わりが見えない被災現場が多く、暑い中、汗をぬぐいながら懸命に働く生徒達をたくさんの方からお褒め頂き、「働किながら学ぶ」姿勢が心底身についていることを改めて実感することができました。生徒達自身も自分の力量や学校全体の集団力、地域の皆様が抱かれている本校生への期待を実感できたのではないのでしょうか。



7 緊急全校ボランティア（飯豊町内）

生徒職員200名超に加えて、様々な関係者50名超の大集団を円滑に動かすことは決して容易なことではありません。さらに、安全な活動には念入りの計画も不可欠です。活動支援の中核を担った職員は受入れ先との調整連絡に加え、昼食や給水、休憩に係る様々なことを短期間で準備し、綿密な実施計画を全体に提示してくださいました。

その努力の甲斐もあって、二学期開始早々学校が一致団結して素晴らしい活動を展開することができました。生徒達の満面の笑みには自分達の役割を果たせた達成感や充実感、今後の活動への意欲が溢れています。



8 「こまつ市」で盛り上げる人たち。

「こまつ市」の会場が今年から川西町役場（新庁舎）駐車場にかわり、7月の市が開催されました。本校ブースには大人気のプリンをはじめ、卵や野菜、ジュースやジャムなどの加工品並び、毎回多くの方にお楽しみ頂いています。そのような中、長蛇の列に並ばれている方にも楽しんで頂きたいとの



思いから「自作パンの試食」を生徒たちが発案し、始動しました。6月はジャムをぬった食パン、7月は米粉ベーグルをご試食頂いたところ大好評。長蛇の列が回を重ねるごとに伸びているようにも感じられますが、来場者の方々は優しさいっぱい。生徒達に励ましの言葉を多数頂戴しています。

地域おこしに協力させて頂きながら、生徒自身も成長できるとても有益な機会になっています。

9 「置農植物園」の草花と昆虫

7月のクラスマッチが終わると、セミの鳴き声が日増しに大きくなり、我が家の家庭菜園では、置農から購入したミニトマトや茄子、キュウリやシシトウが豊作です。ラッキーなことに今年は夏の初めに生徒からミヤマクワガタを頂き、一晚鑑賞することができました。優しい生徒達に囲まれ、本当に幸せです。

進路活動本番を迎え、日々奮闘する3年生をさりげなく見守るように、きれいな花も咲き誇っています。



10 「置農チャンネル」大好評!!

学校HP (<http://www.okitama-ah.ed.jp>)に加えてYouTube（「置賜農業高等学校」で検索または右QRコード）でも情報発信しています。農業の楽しさと本校の魅力を、ご体感ください。



【編集者コラム】・・・生徒達の優しさがくれた素敵な贈り物・・・

8月23日「緊急全校ボランティア活動」当日。殆どの先生方が生徒達と一緒に汗を流して地域貢献に励まれる中、筆者が寂しさに耐えながら留守番していると、一人の来校者があった。彼は今年30歳になる教え子。聞けば、大石田町職員として川西町復旧支援のため当日来町しており、本校生徒と共に町内被災家屋の復旧作業を手伝っているとのこと。野球部だった高校時代の思い出や、三歳の息子と生後10日の娘に囲まれた幸せな日々を聞くことができ、とても充実した時間になった。この再会はボランティア活動を企画実施してくれた本校生徒と先生方のおかげであり、心から感謝しています。

今後の予定

【 9 月 】

23 金 一日体験入学
28 水 中間テスト(～30 金)

【 10 月 】

14 金 企業見学(2年生)
16 水 川西町産業まつり
20 木 収穫感謝祭
21 金 置農祭
22 土 置農祭(一般公開調整中)
24 月 代休

【 11 月 】

15 火 修学旅行(～18 金)
22 火 学校説明会